

行事案内	月 日	行 事 名	場 所	掲 載 ページ
本 部	11月29日(木)	第7回トンネル工学に関するシンポジウム 第1回環境問題シンポジウム 映画会 海外事情に関するシンポジウム〈関東支部共催〉 岩盤力学委員会第2回研究会 岩盤力学研究会 第8回土木計画学シンポジウム 第10回衛生工学研究討論会 第18回水理講演会	東 京	本号本文 140 頁参照
	11月30日(金)		土 木 学 会	本号本文 141 ”
	12月3日(月)		土 木 学 会	本号本文 139 ”
	12月4日(火)		土 木 学 会	本号本文 139 ”
	12月8日(土)		土 木 学 会	本号本文 143 ”
	12月13日(木)		土 木 学 会	本号本文 143 ”
	12月14日(金)		土 木 学 会	本号本文 142 ”
	12月14日(金)		土 木 学 会	本号本文 141 ”
	1月24日(木)		東 京	本号本文 139 ”
	1月25日(金)			
1月28日(月)				
1月29日(火)				
2月15日(金)				
2月16日(土)				
北海道支部	12月3日(月)	第3回講演会	室 蘭 市	本号本文 143 ”
東 北 支 部	11月20日(火)	技術講座と映画の会	仙 台 市	本号本文 143 ”
	2月22日(金)	技術研究発表会	同	本号本文 144 ”
関 東 支 部	11月22日(木)	見 学 会	東 京	本号本文 144 ”
	12月3日(月)	講 習 会	東 京	本号本文 144 ”
	5月27日(月)	年次研究発表会	東 京	本号本文 145 ”
中 部 支 部	2月1日(金)	研究発表会	岐 阜 市	本号本文 146 ”
関 西 支 部	11月16日(金)	講 習 会 同 見 学 会 講 習 会 技術革新講演会 会員懇親会 都市計画に関する懇話会 学術講演会	奈 良 市	10月号本文 136 ”
	11月28日(水)		大 阪 市	9月号本文 127 ”
	12月2日(水)		大 阪 市	10月号本文 147 ”
	12月19日(水)		大 阪 市	10月号本文 137 ”
	12月20日(木)		大 阪 市	本号本文 146 ”
	1月18日(金)		大 阪 市	本号本文 147 ”
	1月23日(水)		大 阪 市	本号本文 147 ”
	5月15日(水)		大 神 戸 市	本号本文 148 ”
中国四国支部	11月19日(木)	工事報告会	鳥 取 市	本号本文 149 ”
	12月4日(火)	講 演 会	広 島 市	本号本文 149 ”
西 部 支 部	2 月 中 旬	研究発表会	熊 本 市	本号本文 149 ”
そ の 他	11月27日(火) ~28日(水)	第4回岩の力学国内シンポジウム	東 京	本号本文 131 ”
お 知 ら せ	■ 昭和48年度土木学会賞候補ならびに吉田研究奨励金候補の募集			本号本文 136 ”
	■ 東北支部事務局移転			本号本文 144 ”
	■ 中部支部研究発表会原稿募集			本号本文 146 ”
	■ 西部支部研究発表会について			本号本文 138 ”
	■ 関西支部学生映画会			10月号本文 137 ”

### 支 部 所 在 地

北海道支部：郵便番号 060・札幌市中央区南1条西2丁目・長銀ビル5階(電 011-251-7038, 261-7742)  
 東北支部：郵便番号 980・仙台市二日町17-21・北四ビル2階 (電 0222-22-8509)  
 関東支部：郵便番号 160・東京都新宿区四谷1丁目・土木学会総務課内 (電 03-351-4133)  
 中部支部：郵便番号 460・名古屋市中区栄2丁目17番22号・科学館内 中部科学技術センター (電 052-231-3043)  
 関西支部：郵便番号 541・大阪市東区船場中央2丁目2番地・船場センタービル4号館409号 (電 06-271-6686)  
 中国四国支部：郵便番号 730・広島市基町10番3号・自治会館内 (電 0822-21-2666)  
 西部支部：郵便番号 810・福岡市中央区薬院2丁目14番21号 (電 092-78-3716)

## 昭和 48 年度土木学会賞候補なら

本年度土木学会賞候補の募集ならびに吉田研究奨励金候補の募集をいたします。表彰規程および下記賞のうちの功績賞については公募いたしません。

### ◎土木学会賞候補募集要項

種別 項目	技 術 賞	論 文 賞
候補 対象	土木事業の計画，設計または施工等に関し，土木技術の進展に顕著な貢献をなした画期的な業績を対象とし，次の各項について選考する。 1. 土木事業の計画，設計または施工等に関する業績 2. 土木事業の計画，設計，施工等に関する総合的な業績	(論文賞) 土木学会誌，論文報告集，その他の刊行物に研究，計画，設計，施工，考案などに関する論文を発表し，これが土木工学における学術，技術の進歩，発展に独創的な業績をあげ，顕著な貢献をなしたもの。 (論文奨励賞) 土木学会誌，論文報告集，その他の刊行物に研究，計画，設計，施工，考案などに関する論文を発表し，これが土木工学における学術，技術の進歩，発展に寄与し，独創性と将来性に富むもので受賞者の年齢が昭和49年5月31日において満36才未満である者。
受賞 候補者	個人または団体。	本会会員(名誉会員，正会員，学生会員)に限る。 過去の受賞者は，論文賞，論文奨励賞の種別における同一の賞の候補者になることができない。 論文賞については，昭和19年度以前の土木賞または昭和39年度以前の土木学会賞受賞者は既受賞者とみなし，論文奨励賞については，昭和39年度以前の土木学会奨励賞受賞者は既受賞者とみなす。 共著者(共同研究者)の中に非会員，既受賞者，その他受賞候補者になることができない者が含まれていることはさしつかえないが，受賞候補者に加えることはできない。 共著者(共同研究者)を受賞候補者からはぶいて推薦する場合は，必ず受賞候補者の当該論文(研究)に対する貢献度を具体的に明記すること。
候補 の 範囲	昭和47年1月1日から昭和48年12月31日までの間にできた業績であって，日本国内において実施されたものに限る。	昭和47年1月1日から昭和48年12月31日までの間に発表されたもので，土木学会誌，論文報告集，その他土木学会の刊行物に登載されたもののほか，他学・協会，大学，官公庁，会社などの刊行物に登載されたものを含む。 なお，同一の問題につき当該期間以前において論文が発表されている場合には，前掲に該当する論文にその過去における発表論文を加えて総合題目として候補の対象とすることもできる。
推薦 (応募) の方法	推薦者は，会員，支部，土木事業に関連する学・協会，法人とする。 推薦者は，別に定める推薦書，候補業績の要旨各1部を提出する。なお，当該業績に関する参考資料を添付することを妨げない。	推薦者は，会員(個人，団体)，支部その他一般とするが，会員みずからの応募であってもよい。 推薦者は，別に定める様式による推薦書1部を提出する。候補論文が土木学会誌，論文報告集以外に発表されている場合は，推薦書に添えて本文および審査に必要な資料6部と，別に定める様式による候補論文要旨1部を提出しなければならない。  (推薦および関係用紙は土木学会本部または各支部に準備)
審査	表彰委員会において行なう。ただし，審査の途上において推薦者またはその代理人に出席を求め説明をうけることがある。	論文賞選考委員会において行なう。なお，必要あるときはさらに資料30部の追加提出を求めることがある。
表彰	第60回通常総会において行ない，賞牌，賞状を贈る。	第60回通常総会において行ない，賞牌，賞状，賞金を贈る。
締期 切日		昭和 49 年 1 月 20 日
提出 先	東京都新宿区四谷1丁目 土木学会表彰委員会	東京都新宿区四谷1丁目 土木学会論文賞選考委員会

## びに吉田研究奨励金候補の募集

募集要項をご参照のうえ、ふるって推薦または応募されますようお願いいたします。ただし、土木学会

吉 田 賞	田 中 賞
<p>コンクリート、鉄筋コンクリートおよびプレストレストコンクリートに関する優秀な研究、工事等を行なった者に授与し、その業績が土木学会の刊行物、コンクリート、鉄筋コンクリートおよびプレストレストコンクリートに関する学・協会刊行物、その他これに類似の刊行物に研究論文、設計・施工・考案などの報告またはそれらの要旨が掲載されたものの中から選ばれる。</p>	<p>(論文) 橋梁およびその他の構造物に関する技術の進歩、発展に貢献したと認められる論文、工事報告等を対象とし、各種刊行物に発表されたものの中から選ばれる。 (作品) 鋼およびコンクリートなどの橋梁およびそれに関連する構造物で、計画、設計、施工、美観などの面においてすぐれた特色を有する物を対象とし、原則として次の各グループについて選考する。 (1) 長大橋梁 (2) 中小橋梁 (3) その他特殊橋梁および橋梁に関連するもの</p>
<p>個人または研究グループ。 ただし、外国国籍の者は、本会会員であって、その候補対象を土木学会誌、論文報告集、その他土木学会の刊行物に発表した者に限る。 また、過去の吉田賞受賞者は重ねて吉田賞候補となることができない。共著者(共同研究者)の中に既受賞者その他受賞候補になることができない者が含まれていることはさしつかえないが、受賞候補者に加えることはできない。なお、共著者(共同研究者)を受賞候補からはぶいて推薦する場合は、必ず受賞候補者の貢献度を具体的に明記すること。</p>	<p>(論文) 個人またはその複数。 ただし、外国国籍を有する者の論文については、日本において最初に発表されたものに限る。 また、過去の田中賞受賞者は重ねて田中賞候補となることができない。共著者(共同研究者)のうちに既受賞者その他受賞候補となることができない者が含まれていることはさしつかえないが、受賞候補者に加えることはできない。なお、共著者(共同研究者)を受賞候補者からはぶいて推薦する場合は、必ず受賞候補者の貢献度を具体的に明記すること。 (作品) 作品自身を対象とするもので受賞候補者はない。</p>
<p>昭和47年1月1日から昭和48年12月31日までの間に発表されたものとする。 なお、同一の問題につき当該期間以前においても論文が発表されている場合には、前掲に該当する論文にその過去における発表論文を加えて総合題目として候補の対象とすることもできる。</p>	<p>(論文) 昭和47年1月1日から昭和48年12月31日までの間に各種刊行物に発表されたものとする。 なお、同一の問題につき当該期間以前においても論文が発表されている場合には、前掲に該当する論文にその過去における発表論文を加えて総合題目として候補の対象とすることもできる。 (作品) 昭和47年1月1日から昭和48年12月31日までの間に完成した構造物で、日本人により計画、設計あるいは施工されたものに限る。なお、完成の時期については、原則的には普通の橋梁等では、供用開始のとき、その他一連の工事の一部としての橋梁等の構造物では、そのもの自身の完成したと見なされるときとする。</p>
<p>推薦者は、会員、その他一般とする。 推薦者は、別に定める様式による推薦書1部を提出する。土木学会誌、論文報告集以外に発表された候補論文は推薦書に添えて本文30部を提出しなければならない。なお、審査に必要な資料がある場合は、30部を提出するものとする。</p> <p>してありますから必ずその用紙を使用して下さい)</p>	<p>(論文) 推薦者は、会員、支部、その他一般とする。また自らの応募でもよい。推薦者は、別に定める様式による推薦書1部を提出する。候補論文が土木学会誌、論文報告集以外に発表されている場合は、推薦書に添えて審査に必要な資料27部を提出しなければならない。 (作品) 推薦者は、会員、支部、その他一般とし、受賞候補に關与した当事者であってもよい。 推薦者は、別に定める推薦書1部を提出する(写真は27枚添付すること)。</p>
<p>吉田賞選考委員会において行なう。</p>	<p>田中賞選考委員会において行なう。なお、必要あるときは、さらに関係資料の提出を求められることがある。</p>
<p>第60回通常総会において行ない、賞牌、賞状、賞金を贈る。</p>	<p>第60回通常総会において行ない、論文部門受賞者に対しては、賞牌、賞状、賞金を贈る。</p>
<p>東京都新宿区四谷1丁目 土木学会吉田賞選考委員会</p>	<p>東京都新宿区四谷1丁目 土木学会田中賞選考委員会</p>

土木学会表彰規程

(総則)

第1条 土木学会規則第34条による表彰はこの規程による。

(賞の種類)

第2条 表彰は次の土木学会賞(総称)を授与して行なう。

1. 功績賞 2. 技術賞 3. 論文賞 4. 吉田賞 5. 田中賞

(功績賞)

第3条 功績賞は土木学会の会員であって、土木工学の進歩、土木事業の発達、土木学会の運営に顕著な貢献をなしたと認められるものに授与する。

(技術賞)

第4条 技術賞は土木事業の計画、設計、施工等に関し、土木技術の進展に顕著な貢献をなしたと認められた画期的な業績に授与する。

(論文賞)

第5条 論文賞は本会会員であって、土木学会誌、論文報告集、その他の刊行物に研究、計画、設計、施工、考案などに関する論文を発表し、これが土木工学における学術、技術の進歩発展に独創的な業績をあげ、顕著な貢献をなしたと認められたものに授与する。

(2) 論文奨励賞は本会会員であって、土木学会誌、論文報告集、その他の刊行物に研究、計画、設計、施工、考案などに関する論文を発表し、これが土木工学における学術、技術に関する進歩発展に寄与し、独創性と将来性に富むものと認められ、受賞者の年齢が原則として受賞時に満36才未満であるものに授与する。

(吉田賞)

第6条 吉田賞はコンクリート、鉄筋コンクリートおよびプレストレストコンクリートに関する優秀な研究、工事等を行なったと認められるものに授与し、その業績が土木学会刊行物、コンクリート、鉄筋コンクリートおよびプレストレストコンクリートに関する学・協会の刊行物、その他これに類似の刊行物に研究論文、設計、施工、考案等の報告またはそれらの要旨が登載されたものの中から選ばれる。

(田中賞)

第7条 田中賞は次の論文ならびに作品に授与する。

- (1) 論文：橋梁およびその他構造物に関する優秀な研究成果を対象とし、公刊されたものの中から選ばれる。  
 (2) 作品：橋梁およびそれに関連する構造物で、計画、設計、施工、美観などの面においてすぐれた特色を有すると認められる物を対象とし、長大橋梁、中小橋梁、その他特殊橋梁および橋梁に関連あるもののグループ別に選ばれる。

(委員会)

第8条 土木学会賞を選考するため次の委員会をおく。

1. 表彰委員会 2. 論文賞選考委員会 3. 吉田賞選考委員会 4. 田中賞選考委員会

- (2) 表彰委員会は功績賞および技術賞の受賞候補の選考をなし、論文賞、吉田賞および田中賞選考委員会の具申を受けて、必要に応じて各賞間の調整を行ない、土木学会賞受賞候補を決定する。  
 (3) 論文賞選考委員会は論文賞候補の選考を行なう。  
 (4) 吉田賞選考委員会は吉田賞候補の選考を行なう。  
 (5) 田中賞選考委員会は田中賞候補の選考を行なう。  
 (6) 前記各委員会の構成、運営その他については別に内規で定める。

(賞の決定、表彰の時期・方法)

第9条 土木学会賞は理事会において決定し、表彰は原則として毎年1回通常総会において賞牌、賞状等を授与して行なう。

◎吉田研究奨励金候補の募集

1. 候補対象：コンクリート、鉄筋コンクリートおよびプレストレストコンクリートに関する研究に従事する者で、特に独創性と将来性に富むと認められたもの。ただし、授与される者が、原則として満40才以下の者に限り、かつ、特殊な場合を除き、同一研究計画に対してすでに吉田研究奨励金を授与されたものを除く。

2. 募集の題目

- (1) 要望課題：コンクリート、鉄筋コンクリートまたはプレストレストコンクリートにおける複合機構に関する研究  
 (2) 自由課題

3. 募集の方法：日本の国籍を有する個人または研究グループの応募による。

4. 研究成果の報告：研究成果は文書により昭和50年4月10日までに吉田賞選考委員会に提出するほか、昭和50年10月中旬開催の第30回年次学術講演会において吉田研究奨励金を授与された研究であることを明らかにして発表しなければならない。

5. 応募の方法：一定様式による研究計画書1部を提出する。

(計画書の用紙は土木学会本部および各支部に準備してありますから、必ずその用紙を使用して下さい)

6. 審査：吉田賞選考委員会において行なう。

7. 締切期日：昭和49年1月20日

8. 提出先：郵便番号160 東京都新宿区四谷1丁目 土木学会吉田賞選考委員会

◎昨年度の土木学会賞受賞者(敬称略)

功績賞：富樫 凱一 福田 武雄

技術賞：日本石油(株) 日本石油喜入原油貯蔵中継基地の建設

論文賞：山村 和也 河川堤防の土質工学的研究(総合題目)

論文奨励賞：村井 俊治 土木計画、設計における地形情報処理システムに関する研究(総合題目)

吉田賞：長濱 重義 膨張セメントコンクリートに関する研究

田中賞：論文部門 該当なし。作品部門 浦戸大橋、生の浦大橋、境水道大橋

## 映画会開催について

▶ 12月8日(土) ◀

1. 場 所：土木学会土木図書館講堂（東京都新宿区四谷1丁目 国電・地下鉄四ツ谷駅下車）
2. 日 時：毎月第2土曜日 14.00～ 12月8日(土)です。
3. 上映作品：12月は、次の映画を予定しております。
 

「本四架橋の設計調査」	31分	本州四国連絡橋公団・提供
「日本横断パイプライン」	30分	日本鋼管(株)・提供
「海上石油埠頭」	30分	大成建設(株)・提供
「第三の道路」	30分	日本道路公団・提供

 なお、1月は中止致しますので感しからずご了承下さい。
4. 参加費：無料 土木関係以外の方も歓迎致します。  
 本映画会に関する問合せは、土木学会視聴覚教育委員会宛にお願い致します。  
 共 催：土木学会関東支部

## 海外事情に関するシンポジウム開催のご案内 &lt;関東支部共催&gt;

土木学会海外活動委員会では関東支部と共催で10月より標記のシンポジウムを開催しております。10月のベトナム事情、11月のブラジル事情につづき12月にはイラン事情について行ないますので多数ご参加下さいますようお願いいたします。

<参加無料>

## イラン事情

1. 期 日：1973年12月13日(木) 14:00～17:00
2. 会 場：土木学会土木図書館講堂
3. 講 師：

吉井純行（現通産省資源エネルギー庁精製流通課，日本プラント協会アヘラン事務所長等）歴任）

高橋親一（現三祐コンサルタンツ，インドネシアかんがい計画イランタンガン水資源計画に参加）

## 第18回水理講演会

▶ 2月15日(金)～16日(土) ◀

第18回水理講演会を下記により開催致します。講演申込みは11月5日に締切りました。講演を申込まれた方は期日までに原稿を提出して下さい。

1. 期 日：1973年2月15日(金)～16日(土)
2. 会 場：究明会館（東京都港区西久保明舟町17番地・地下鉄虎ノ門下車徒歩3分）
3. 主 催：土木学会水理委員会
4. 課 題：A. 水理模型（含む数値解析），B. 密度流・混相流（水質問題を含む），C. その他
5. 講演原稿締切期日：1974年1月12日(土)（厳守）

## 講演会、シンポジウム資料の頒布について

1. 構造物の耐風性に関する第2回シンポジウム論文集  
 （1972年12月4日・5日，電気・土木・気象・建築，鋼構造の5学協会が共催）  
 内 容：30編の論文および特別講演3編を収録 頒 価：B5・252ページ 2000円（〒140）
2. 現場における岩盤計測と設計・施工への応用（第2回岩の力学講演会講演集）  
 （1973年2月16日，学術会議主催，土質・土木・材料・鉱業の4学会が共催）  
 内 容：ダム，橋梁，地下発電所などの応用例6編を収録 頒 価：A4・128ページ 2000円（〒140）
3. 第17回水理講演会講演集（1973年2月16，17日，土木学会水理委員会主催）  
 内 容：20編の講演概要および昭和47年度水理学研究の現況を収録  
 頒 価：B5・134ページ 1300円（〒140）

第7回トンネル工学に関するシンポジウム

▶ 11月29日(木)~30日(金) ◀

第7回トンネル工学に関するシンポジウムを下記により開催致しますのでふるってご参加下さいませようご案内申し上げます。

1. 期 日：1973年11月29日(木)、30日(金)の2日間
2. 会 場：ニッショーホール(東京都港区芝西久保明舟町18 TEL 580-7052)地下鉄虎ノ門下車徒歩3分
3. 主 催：社団法人土木学会トンネル工学委員会
4. プログラム：

第1日目：11月29日(木)

- |             |                               |                  |
|-------------|-------------------------------|------------------|
| 9:30~9:50   | 開会挨拶                          | トンネル工学委員会委員長     |
| 9:50~10:40  | 委員会活動報告「鋼製、汎用RCセグメントの標準化について」 | 鋼製、RCセグメント規格化分科会 |
| 10:40~11:30 | 「沈埋トンネルの耐震設計指針(案)について」        | 沈埋トンネル耐震設計研究委員会  |
| 11:30~12:40 | 昼食・休憩                         |                  |
| 12:40~13:00 | トンネル施工の省力化に関する総括報告            | 株式会社熊谷組 大塚本夫     |
| 13:00~14:00 | 都市トンネルの掘削における機械化施工の問題点        | 日本国有鉄道 丹羽俊彦      |
| 14:00~15:00 | 山岳トンネル掘削における機械力導入の効果と問題点      | 日本鉄道建設公団 横山章     |
| 15:00~15:10 | 休憩                            |                  |
| 15:10~16:10 | 竹原トンネルにおけるトンネル掘削の省力化について      | 株式会社熊谷組 秋野秀夫     |
| 16:10~17:10 | トンネル工事のシステム化について              | 東京都交通局 福井正憲      |

第2日目：11月30日(金)

- |             |                               |                |
|-------------|-------------------------------|----------------|
| 9:40~10:00  | トンネル建設における環境問題総括報告            | 日本国有鉄道 斎藤徹     |
| 10:00~11:00 | 道路トンネルの環境対策(トンネル計画時および供用後の問題) | 建設省土木研究所 立石俊一  |
| 11:00~12:00 | 道路トンネル建設における公害対策事例(都市部)       | 日本道路公団 山本元     |
| 12:00~13:00 | 昼食・休憩                         |                |
| 13:00~14:00 | 山陽新幹線トンネルにおける建設公害対策           | 日本国有鉄道 堀内義朗    |
| 14:00~15:00 | 地下鉄工事における建設公害対策               | 帝都高速度交通営団 和田一郎 |
| 15:00~15:10 | 休憩                            |                |
| 15:10~17:00 | 映 画                           |                |
|             | 1. 地下鉄関係                      | 候補未定           |
|             | 2. 山岳トンネル関係                   | 〃              |
|             | 3. トンネルボーリングマシン関係             | 〃              |

5. 定 員：500名
6. 参 加 費：会員5000円、非会員5500円
7. 申 込 方 法：参加希望の方は本誌10月号添付の申込書に①氏名、②勤務先、③連絡先住所、を明記のうえ参加費(現金書留)を添えてお申し込み下さい。
8. 申 込 先：社団法人土木学会事業課(郵便番号160 東京都新宿区四谷1丁目 電話東京(351)5138)

**EARTHQUAKE RESISTANT DESIGN FOR CIVIL ENGINEERING STRUCTURES, EARTH STRUCTURES AND FOUNDATIONS IN JAPAN, 1973**

● B5判・150ページ(口絵・付図つき上製)定価1600円(〒140・海外価格8ドル) ●

1973年6月25日~29日までローマで開かれた第5回世界地震工学会議を記念して全面改訂された各分野の耐震規定を収録したもの。土質基礎、ダム、港湾構造物、上水道、橋梁に分け、土質工学会、日本ダム会議、運輸省港湾技術研究所、日本水道協会、土木学会橋梁構造委員会が責任編集にあたった貴重な指針。

# 第1回環境問題シンポジウム

▶ 12月3日(月)~4日(火) ◀

土木学会環境問題小委員会は1970年6月に発足した新しい委員会で、環境問題に対する土木工学のアプローチ法に関して、研究および情報交換を進めてきました。今までの研究成果の発表と、広く情報の交換をするために、下記により第1回シンポジウムを開催いたします。土木技術者の活動範囲において、環境問題がきわめて重要となってきた事情にかんがみ多数ご参加下さるようご案内いたします。

1. 期 日：1973年12月3日(月)、4日(火)
2. 場 所：土木学会土木図書館講堂
3. 参加費：無料
4. 講演集：当日参加者の便宜のため講演概要を印刷し、実費頒布(1500円程度の見込)いたしますのでご購入下さい。
5. 申込：参加希望者は氏名、勤務先、連絡先を明記のうえ11月20日までに官製ハガキで土木学会環境問題小委員会宛お申込下さい。満員の際は締切らさせていただきます。

(12月3日)

- |             |   |                 |                      |
|-------------|---|-----------------|----------------------|
| 9.30~9.45   | 開会挨拶  | 土木学会環境問題小委員会委員長 | 松本順一郎                |
| 9.45~10.30  | (総括)  | 副委員長            | 南部 祥一                |
| 10.30~11.00 | 河川流域水系環境の展望と水資源配分計画に関する一考察(東京三多摩地区多摩川流域を例として) | 東京大学            | ○村上 雅博・安川 歩・前田 論     |
| 11.00~11.30 | 多摩川における水質把握の現況とその解析                           | 東京大学            | ○市川 新・横山 道子          |
| 11.30~12.00 | 討議  |                 |                      |
| 13.00~13.30 | 琵琶湖における水質解析                                   | 日本水道コンサルタント     | 明石 哲也                |
| 13.30~14.00 | 沿岸海域の水質と底質におよぼす波と風の影響に関する野外研究                 | 東京大学            | ○佐々木民雄・IINA新土研 五十嵐 元 |
| 14.00~14.30 | 大阪府下の道路騒音の現状                                  | 大阪府             | 中村 隆一                |
| 14.30~15.15 | 討議  |                 |                      |

(12月4日)

- |             |                                 |   |                      |
|-------------|---------------------------------|---|----------------------|
| 9.30~10.00  | 都市大気汚染に関する気象ポテンシャルについて          | 京都大学  | ○池田 有光・平岡 正勝         |
| 10.00~10.30 | 制御理論と回帰分析法を組合せた統計的環境汚染の予測方法について | 東京工業大学  | 日野 幹雄                |
| 10.30~11.00 | 大阪府の大気汚染制御システムの構想               | 大阪府   | 溝口 次夫                |
| 11.00~11.45 | 討議                              |   |                      |
| 13.00~13.30 | ごみ収集作業                          | 都立大学  | 川口 士郎                |
| 13.30~14.00 | 産業連関分析的手法による産業廃棄物排出量の将来予測について   | 大阪府大  | 谷山 新良・厚生省 片山 徹・○横田 勇 |
| 14.00~14.30 | 討議                              |   |                      |
| 14.30~15.00 | 住民意識を指標とした環境汚染の総合評価に関する研究       | 京都産大  | 勝矢 淳雄                |
| 15.00~15.30 | 住宅地における交通と沿道環境について              | ○関西医大 東田 敏夫・大阪府 矢嶋 哲男・阪市大○西村 昂<br>大阪府警 磯村 幹夫・大阪大学 三星 昭宏 |                      |
| 15.30~16.00 | 討議                              |   |                      |
| 16.00~16.10 | 閉会挨拶                            | 土木学会環境問題小委員会委員長   | 松本順一郎                |

# 第10回衛生工学研究討論会

▶ 1月28日(月)~29日(火) ◀

1. 期 日：1974年1月28日(月)、29日(火)の2日間
2. 場 所：土木学会土木図書館講堂(新宿区四谷1丁目)
3. 参加費：無料
4. 講演論文集：実費にて頒布(価格は次号をご覧ください)
5. プログラム：

1月28日(月)

- |             |  |                |                        |
|-------------|--|----------------|------------------------|
| 9.30~9.45   | 開会挨拶   | 土木学会衛生工学委員会委員長 | 岩井 勇久                  |
| 9.45~10.00  | 幹事長挨拶  | 土木学会衛生工学委員会幹事長 | 杉本 昭典                  |
| 10.00~10.20 | ① 微生物の比増殖速度 $\mu$ とBOU除去係数 $K_d$ に対する基質濃度のべき関数表示 | 都立大            | ○佐方 悠・左合 正雄            |
| 10.20~10.40 | ② 活性汚泥微生物の連続培養系における非正常特性について                     | 北大             | 寺嶋 重雄・○加藤 善盛           |
| 10.40~11.00 | ③ し尿の純酸素活性汚泥処理について                               | 北本衛生組合         | 高木 良一・昭和電工 斎藤 京一・○入江 週 |
| 11.00~11.20 | ④ 活性汚泥と重金属——主としてCdについて——                         |                | 建土研 小堀 和夫              |
| 11.20~12.00 | ①~④ 討議   |                |                        |
| 12.00~13.00 | 休憩   |                |                        |
| 13.00~13.20 | ⑤ フロックの破壊機構に関する研究                                | 東大             | ○松尾 友矩・野間 一夫           |
| 13.20~13.40 | ⑥ 沈降濃縮過程に及ぼす温度の影響                                | 東大             | ○大垣真一郎・松尾 友矩           |
| 13.40~14.00 | ⑤, ⑥ 討議  |                |                        |

14.00~14.20	⑦ 富栄養水域における底質評価に関する研究	山口大 ○浮田 正夫・中西 弘
14.20~14.40	⑧ 汚濁河川における有機物の挙動についての研究（石狩川についての一考察 その3）	北大 那須 義和・○橋 治国
14.40~15.00	⑦, ⑧ 討 議	
15.00~15.15	休 憩	
15.15~15.35	⑨ 水質汚濁における微生物の機能に関する研究——各種細菌群を利用した家畜排水追跡法とその応用について——	北大 芦立 徳厚
15.35~15.45	⑨ 討 議	
15.45~16.05	⑩ 非定常拡散方程式の数値計算法（その2）	建土研 村上 健
1月29日（火）		
9.30~9.50	⑪ 下水の3次処理としての活性汚泥処理水の加過	建土研 柏谷 衛
9.50~10.10	⑫ 逆浸透法による下水処理水の高純度浄化	三井 ○般木満夫・東大 綾日出教・木村尚夫・造水センター 井上輝之助
10.10~10.30	⑪, ⑫ 討 議	
10.30~10.50	⑬ 石灰凝集沈殿によるリン除去（第2報）——パイロットプラントの運転結果——	建土研 ○京才 俊則・横須賀 市・松本 利通
10.50~11.10	⑭ Bioferic Process による下水の高純度処理——その実証運転結果について——	京大 岩井 重久・北尾 高嶺・栗田工業 ○向井 常雄
11.10~11.30	⑬, ⑭ 討 議	
11.30~12.30	休 憩	
12.30~12.50	⑮ 生物学的脱窒素プロセスについて	花原 達矢・泰典・○松尾 吉高・鈴木 晋幸
12.50~13.10	⑯ 活性汚泥二次処理水の特性とその高度化に関する研究	北大 寺嶋 重雄・○寺町 和宏
13.10~13.30	⑰ 接触酸化装置の基質除去機構の検討	住友重機 青井 透
13.30~14.00	⑯~⑰ 討 議	
14.00~14.20	⑱ 水の高純度利用と高純度浄化に関する一提案	山口大 ○中西 弘・浮田 正夫
14.20~14.30	⑱ 討 議	
14.30~14.50	⑲ 高純度浄化の用途とその手法の評価	東大 綾日出教

## 第8回土木計画学シンポジウム参加者の募集

▶ 1月24日（木）～25日（金）◀

第8回の土木計画学シンポジウムは、前回に引き続き「環境問題と土木計画学」を主題として実施することと致しました。

今回のシンポジウムでは、特に土木の各部門における「環境のとらえ方と評価」を中心に行ないます。計画者は、土木事業の具体化に際して、環境をどのように把握し、整理し、評価しているのか、またしてきたのかに論点を絞り、シンポジウムを実施いたします。

かねて一般公募を実施しておりましたものに加え、各分野のホットな話題を集め充実した討議ができるよう企画いたしましたので、この方面に関係ある各位のご参加を広くおすすめいたします。

1. 会 場：土木学会土木図書館講堂（東京都新宿区四谷1丁目，外濠公園内）
2. 主 題：環境問題と土木計画学——環境のとらえ方と評価——
3. 期日およびプログラム：1974年1月24日（木）～25日（金）

### 第1日（1月24日）

9:30~9:40	開会あいさつ	八十島 義之助
9:45~10:00	前回のシンポジウムのまとめ	中村 良夫
10:00~10:15	今回のシンポジウムの主旨	武部 健一
第I部 報告と各論ごとの討議		
10:20~11:20	高速道路における公害問題——公害のとらえ方と評価——	司会・小林 三樹
11:20~12:20	鉄道と環境問題	細井 昌晴 田中 和夫
< 昼 食 >		
司会・市川 勲		
13:30~14:30	土木計画学における環境問題の位置付け ——下水処理を例として二、三の考察（仮称）	松井 二郎
14:30~15:30	都市河川における河川敷利用と環境——多摩川におけるケーススタディ——	荒井 治
15:30~16:30	河川計画と流域環境のとらえ方——東京多摩地区多摩川流域を例として——	村上 雅博・前田 諭・安川 孝

### 第2日（1月25日）

司会・岩松 幸雄		
9:30~10:30	港湾と環境問題——その把握と評価に関する提言——	加藤 勝則
10:30~11:30	多摩ニュータウンにおける環境上の諸問題	北条 晃敬・堀江 興・野村 孝雄
< 昼 食 >		
13:00~14:00	環境アセスメント論	金屋敷 忠 依
第II部 総合討議		



14:00~16:30 総合討議  
 16:30~16:50 第8回土木計画学シンポジウムのまとめ  
 16:50~17:00 閉会あいさつ

司会・武部 健一／市川 新  
 菅原 操  
 米谷 栄二

4. 参加申込方法：① 官職氏名，② 連絡先（郵便番号・住所／勤務先・自宅の区分明記のこと），③ 会員区分，等を明記した葉書にて 1974 年 1 月 10 日までに下記あて申込んで下さい。おろかえし参加票をお届けします。

〒 160 / 東京都新宿区四谷 1 丁目 土木学会事務局土木計画学シンポジウム係  
 (電話 03-351-5130 番)

5. 参加費：会員 2500 円，会員外 3000 円（ただし，シンポジウム参加費，同前副代，7 月完成予定のブローディング代等の諸費を含みます）

## 昭和 48 年度岩盤力学委員会第 2 回研究会開催についてご案内

土木学会岩盤力学委員会は，岩盤力学に関する調査研究を行なっておりますが，調査研究活動の一環として特定なテーマを決めて研究会を適宜開催しております。

委員会としては，この研究会をより活発にするために委員会委員以外の方にも参加していただき，討議および研究情報交換等を行なうことになりました。

ついでには，標記研究会を下記により開催致しますので，多数ご参加下さるようご案内致します。

### 記

1. 開催日時：1973 年 12 月 14 日（金）13:30~11:00
2. 会場：土木学会土木図書館講堂（東京都新宿区四谷 1 丁目，国電・地下鉄四ツ谷駅下車）
3. 研究会：
  - 講演-1. ロックフィルダムの築堤・湛水および地震時の数値解析における諸物性のとり扱いについて 電力中央研究所技術第 2 研究所 林 正 夫
  - 講演-2. 鉄塔基礎の引抜き抵抗に関する三次元弾塑性解析と実測値の対比 電力中央研究所技術第 2 研究所 北 原 義 浩
4. 参加費：無料（聴講自由）
5. 定員：180 名（当日満員の際はおことわりすることがありますのでご承知おき下さい）

## 北海道支部行事案内（郵便番号 060 札幌市中央区南 1 条西 2 丁目・長銀ビル 5 階） 電話 札幌 (011) 251-7038・261-7742

### 第 3 回講演会 <土質工学会北海道支部共催> ——海外の道路と交通問題——

1. 日 時：1973 年 12 月 3 日（月）13.30~16.30
2. 場 所：空蘭建設会館（空蘭市中央町 2 丁目 8-21 空蘭建設協会内）
3. 講演題目と講師

- ① 13.30~15.00 ヨーロッパの新たな交通システムの開発について
  - ② 15.00~16.30 欧米の道路と環境について
- 以上スライド上映解説  
 ○入場無料・多数の聴講を歓迎します。

北大教授 加 末 照 俊  
 北海道土木部道路課長 水 沢 和 久

## 東北支部行事案内（郵便番号 980 仙台市二日町 17-21・北四ビル 3 階） 電 0222-22-8509

### (1) 技術講座と映画の会

▶ 11 月 20 日（火）◀

1. 日 時：1973 年 11 月 20 日（火）10.20~16.00
2. 場 所：農業会館（青森市新町）
3. 聴 講：無料（ただし，聴講者の便宜をはかり，希望者には当日会場においてテキストを実費頒布いたします）

4. 講座および講師

- 10.20~10.30 開会のあいさつ  
 10.30~12.00 建設工事に伴う振動および騒音について  
 12.00~13.00 (昼食休憩)  
 13.00~14.30 東北縦貫高速道路工事について

青森県土木部長 寺本 義男  
 東北地方建設局技術管理課長 会津 正人  
 日本道路公団仙台建設局技術第三課長 河島 恒

5. 映 画: ① 東名高速道路 ② 東海道新幹線(総集編)

(2) 技術研究発表会

▶ 2月22日(金) ◀

1. 日 時: 1974年2月22日(金)
2. 場 所: 宮城県民会館6階および3階(仙台市国分町)
3. 応募方法: 講演希望者は、氏名、連絡先を明記のうえ、所定の申込カードを請求して下さい。折返し申込カード、記載要領などを送ります。
4. 申込締切期限: 1973年11月20日支部必着(期限厳守)  
 期限までに申込書を提出した方のみ、所定の原稿用紙、書き方、講演要領などを送ります。
5. 原稿締切期限: 1974年1月20日支部必着(期限厳守)
6. 講演資格: 土木学会東北支部所属の会員に限る。
7. 講演内容: 土木工学、土木技術に関する論文、報文で未発表のものに限る。
8. 参加費: 聴講、発表無料(ただし、聴講者の便宜をはかり、希望者には講演概要集を当日会場において実費頒布します。)

▶ 支部事務局移転案内 ◀

1. 移 転 先: 仙台市二日町17-21北四ビル2階(〒980)  
 (市電木町通二丁目停留所南側、ホテル万成西隣り)
2. 電 話: 0222-22-8509(従来どおり)
3. 移 転 日: 1973年11月2日

関東支部行事案内 (郵便番号160 東京都新宿区四谷丁1目・土木学会総務課内)  
 電話 03-351-4133

(1) 「多摩ニュータウン」見学会

▶ 11月22日(木) ◀

多摩ニュータウンは、数々の話題をはらみながら、着々と建設が進められております。  
 わが国最大のニュータウンへ、諸兄の参加を期待いたします。

1. 期 日: 1973年11月22日(木)
2. 集 合: 22日9時50分・土木学会(国電四谷駅300m)
3. 行 程: 10.00 土木学会発~11.30 多摩ニュータウン着、17住区(入居済)見学~12.00 昼食・全体計画説明~13.00 同発・小田急線、京王線トンネル見学・5,6住区(入居済)見学・9~11住区(造成中)見学・清掃工場見学~15.30 多摩ニュータウン発~17.00 新宿着解散
4. 参加費: 800円(昼食、バス代を含む)
5. 定 員: 50名(着金の順に50名)
6. 申 込: 参加希望者は、a) 氏名、b) 所属部課名、c) 連絡先等を明記のうえ、会費を現金書留に同封し、関東支部あてお申し込み下さい。

(2) 「最近の建設機械の話題」講習会

▶ 12月3日(月) ▶

今回は、建設機械を話題としてとり上げました。

最近の建設機械は、ますます大型化する建設工事や、工事中における周辺の環境保全に適合すべく、その開発研究には、めざましいものがあります。

このたび、日ごろ、それらの機械に取り組んでおられる方々をお招きし、各建設機械の特長や問題点などについて、お話をさせていただく機会を得ましたので、多数ご参加下さるよう、ご案内いたします。

主 催：土木学会関東支部

共 催：日本建設機械化協会

1. 期 日：1973 年 12 月 3 日（月）

2. 会 場：発明会館ホール（東京都港区芝西久保明舟町 17/電 03-502-0510）

3. プログラム：

9.20～9.30 開会あいさつ

9.30～10.40 土工機械

10.50～12.00 基礎工機械

13.00～14.10 コンクリート工機械

14.20～15.30 トンネル機械

15.40～11.50 舗装機械

16.50～17.00 閉会あいさつ

土木学会関東支部長 八十島 義之助

日本国土開発（株）研究部次長 佐藤 裕 俊

（株）大林組技術研究所次長 斉藤 二郎

（株）竹中工務店技術研究所主席研究員 三浦 満 雄

日本鉄道建設公団青函建設局機械課長 桂木 定 夫

日本舗道（株）機械部車輛課長 高野 漢

土木学会関東支部幹事長 藤井 敏 夫

4. 参加費：1500 円（テキスト代を含む）

5. 申込み：希望者は、11 月 24 日（土）までに氏名、所属部課名および連絡先を明記のうえ、参加費を同封し、現金書留で関東支部あてお申し込み下さい。

〒160 東京都新宿区四谷1丁目 土木学会関東支部（03-351-4133）

### （3）「関東支部年次研究発表会」（昭和 49 年度）

▶ 5 月 27 日（月）◀

関東支部では、今回、下記のように年次研究発表会を計画いたしました。特に若い研究者・技術者の研究発表および新しい技術・工事の実績報告を歓迎いたします。

また教育を初めとする、土木にかかわる諸問題の発表部門も設けました。ふるってご参加下さい。

1. 日 時：1974 年 5 月 27 日（月）9.00～17.00 の予定

2. 会 場：国立教育会館（東京都千代田区霞ヶ関 3-2-3）

プログラム、講演概要の頒価およびその他の事項については、学会誌 3 月号に掲載の予定です。

講演ご希望の方は、次の申込要領をご覧のうえ、お申し込み下さい。

また、講演希望者には、a 申込カード、b 原稿の書き方、c 原稿用紙（手書き用、タイプ用の 2 種あり、どちらかを指定する）の一式をお送りいたしますので、支部あてご請求願います。

#### 年次研究発表会申込要領

（1）講演申込：講演希望者は申込カード（3 枚複写）に部門および分類、題目、勤務先、会員種別、氏名（連名の時は講演者に○印をつける）、卒業学校名および年次、連絡先等を明記のうえ、1974 年 1 月 15 日（火）までに、土木学会関東支部へ必着するよう、提出して下さい。なお今回は、準備の都合で、先着順に締切らせていただくこともあります。

（2）講演内容：講演は未発表のもので、1 人 1 題にかぎります。

（3）講演時間：1 題につき、15 分～20 分の予定です。

（4）講演部門：次の 5 部門に分けますが、都合により講演者の了承を得たうえで、部門を変更させていただくことがあります。

（お願い）申込カードの部門欄には、部門番号と分類をご記入下さい。（例：第Ⅲ部門 土質工学）

部 門	分 類
第Ⅰ部門	応用力学・構造力学・構造工学・橋梁・その他
第Ⅱ部門	水理学・水文学・発電水力・衛生工学・河川・港湾・海岸・その他
第Ⅲ部門	土質工学・基礎・岩盤力学・その他
第Ⅳ部門	道路・鉄道・交通計画・都市計画および地域計画・施工計画・測量・環境保全・土木政策および教育問題・その他
第Ⅴ部門	土木材料・土木施工法・コンクリートおよび鉄筋コンクリート・その他

（5）原稿提出要領：講演申込者には、次の要領で講演概要の原稿を提出していただきます。

1) 講演概要は、講演者の原稿をそのまま縮写してオフセット印刷としますので、必ず所定の原稿用紙をご使用下さい。

2) 原稿は、1974 年 3 月 5 日（火）（期限厳守）までに、関東支部へ必着するようお送り下さ

- い。
- 3) 原稿の長さは、1題につき2・4ページ(図表、写真を含め、1ページ2000字詰)を原則とし、超過する場合は内容を審査いたします。
  - 4) 講演者(○印)で未入会の方は、原稿提出期限までにご入会下さい。
- (6) 講演概要: 有料頒布といたします。講演者(○印)には各自の別刷30部を無料でお送りいたしますが、それ以上の取扱はいたしません。

**中部支部行事案内** (郵便番号 460 名古屋市栄2丁目17番22号・科学会館内)  
中部科学技術センター 電話 052-231-3043

**研究発表会論文・報文原稿募集**

1. 研究発表会: 1974年2月1日(金)
2. 場 所: 岐阜県建設業会館(岐阜市藪田)
3. 内 容: 土木工学, 土木技術, 土木工事報告文など
4. 研究発表の申込み: 研究発表希望者は、題目、講演者氏名(連名のときは、発表者に○印、勤務先、連絡先等を記入のうえ、11月10日(土)までに下記までお申込下さい。  
〒460 名古屋市中区栄2丁目17-22 科学館内 中部科学技術センター内  
土木学会中部支部(052)231-3043  
(注) 研究発表の申込みがあり次第、研究発表概要の原稿用紙をお送りします。
5. 原稿締切: 1973年12月15日(土)必着のこと。
6. 原稿提出先: 研究発表の申込先と同じ。

**関西支部行事案内** (郵便番号 541 大阪市東区船場中央2丁目2番地 船場センタービル4号館)  
409号 電話 大阪 06-271-6686 番, 振替口座 大阪 82599

**(1) 技術革新講演会**

▶ 1月18日(金) ◀

この講演会は、従来「海外事情講演会」として行なわれていたものを、今年度より表記のように名称を変えて開催いたします。わが国における技術革新は、これまでめざましい経済発展と生活の向上に寄与しておりますが、最近では深刻な環境問題、国際化と情報化の進展などの情勢変化に伴って、技術革新も新たな要請のもとで展開しつつあります。このような背景で、国内はもちろん、広く国外の事情も取り入れて技術革新に関する話題を講演していただくものです。

多数の参加を希望しております。

1. 日 時: 1974年1月18日(金) 14.30~17.30
2. 会 場: 好文倶楽部集会所 電話大阪(06)345-4389 番  
大阪市北区梅田2 第一生命ビル 12階(国鉄大阪駅前)
3. 題目と講師:
 

14.30~14.40	開会挨拶	土木学会関西支部長 松尾新一郎
14.40~15.20	(1) 文化財保護: 開会	直畿圏整備本部調査官 高野浩二
15.20~16.00	(2) 海洋スペースの利用: 開会	芙蓉海洋開発(株)常務取締役 工博 佐久田昌昭
16.10~16.50	(3) 新交通システム	京都大学教授工学部 工博 米谷栄二
16.50~17.30	映画 人間都市の建設—ゆたかな人間環境の創造—16 ミリカラー W. 20分	
17.20~17.30	閉会挨拶	土木学会関西支部幹事長 室田明
4. 定 員: 120名
5. 聴 講: 無料 来聴歓迎

(お願い) 勤務先ごとに参加予定人員をおまとめのうえ、1月10日(木)までに、はがきまたは電話で土木学会関西支部へお申し込みください。

なお別掲の会員懇親会を本講演会終了後催しますのでひきつづき参加さたようお勧めいたします。

(2) 会 員 懇 親 会

▶ 1 月 18 日 (金) ◀

1. 日 時: 1974 年 1 月 18 日 (金) 17 時 30 分よりの予定 (技術革新講演会終了後)
2. 会 場: 好文倶楽部会議室 電話 大阪 (06) 345-4389 番  
大阪市北区梅田 2 第一生命ビル 12 階 (国鉄大阪駅前)
3. 参 加 費: 2 000 円
4. 申 込 期 限: 1974 年 1 月 10 日 (木)
5. 申 込 方 法: 参加希望者は、氏名・勤務先・連絡先をご記入 (様式随意) のうえ、参加費を添えて土木学会関西支部へお申し込みください。参加証を発行いたします。

(3) 第 2 回 見 学 会 (滋賀南部地区見学会)

▶ 12 月 12 日 (水) ◀

1. 期 日: 1973 年 12 月 12 日 (水) (雨天決行)
2. 見 学 先: 1. 近江大橋工事 (ディヴィダーグおよびポストテンション)  
2. 野洲川新川開削工事  
3. 湖西線工事 (雄琴駅駅舎, トンネルおよびスラブ軌道)
3. 集 合: (A班) 9 時までに阪神電鉄本社前 (大阪中央郵便局西入南側, 国鉄大阪駅西南)  
(B班) 10 時 10 分までに国鉄大津駅正面玄関付近
4. 行 程: 9.10 阪神電鉄本社前発—10.20 国鉄大津駅前経由—10.30 近江大橋着, 昼食,  
12.30 発—野洲川着, 見学, 14.00 発—14.30 湖西線雄琴駅着, 見学, 16.00 発—奥比叡ドライ  
ブウェイ—大津インター—18.30 国鉄大阪駅着, 解散
5. 参 加 費: 2 300 円 (昼食付)
6. 定 員: 50 名 (先着順)
7. 申 込 期 限: 1973 年 11 月 27 日 (火)
8. 申 込 方 法: 参加希望者は、氏名・勤務先・連絡先・集合場所 (AかB) をご記入 (様式随意) のうえ参加費を添えて土木学会関西支部へお申し込みください。
9. そ の 他: 天候不順の場合は、舟利用をとりやめることをご了承ください。

(4) 都 市 計 画 に 関 す る 懇 話 会 (第 4 回) 廃棄物

▶ 1 月 23 日 (水) ◀

1. 日 時: 1974 年 1 月 23 日 (水) 13.00~16.00
2. 会 場: 大阪科学技術センター 4 階 405 号 電話 大阪 (06) 443-5321 番  
大阪市西区靱 1 丁目 118 番地 (地下鉄四ツ橋線本町下車, 北へ 150m 靱公園北東角)
3. 話 題: 1. 物資循環と都市計画  
2. 廃棄物総量規制  
3. 二次廃棄物  
4. 廃棄物利用システム  
5. 廃棄物輸送システム  
6. その他
4. 話 題 提 供 者 お よ び 司 会:
 

開 会 挨 拶 話 題 提 供 者   司 会  閉 じ 会 挨 拶	土木学会関西支部長 松 尾 新 一 郎 京都大学教授工学部兼経済研究所 末 石 富 太 郎 大阪府公害監視センター次長 大 塩 敏 樹 大阪市下水道局建設部長 大 西 義 昭 大阪市環境事業局施設部長 東 清 治 日立造船(株)開発本部開発室主任部員 三 宅 一 馬 京都大学教授工学部兼経済研究所 末 石 富 太 郎 大阪市総合計画局企画部調査課長 村 上 正 土木学会関西支部幹事長 室 田 明
--	---
5. 定 員: 50 名 (先着順)
6. 参 加 費: 無料 参加歓迎
7. 申 込 方 法: 参加希望者は、勤務先ごとに参加予定人員をまとめるうえ、1974 年 1 月 8 日 (火) までに、はがきまたは電話で土木学会関西支部へお申し込みください。

(5) 関西支部年次学術講演会 (昭和49年度)

▶ 5月15日(水) ◀

1. 日 時: 1974年5月15日(水) 9.00~17.00 の予定  
 2. 会 場: 神戸大学工学部 電話 神戸(078) 881-1212 番 内線 5180  
 〒 657 神戸市灘区六甲台町

交通	阪神御影→市バス ⑥ 鶴甲団地行 神大工学部前 20分
	国鉄六甲口→市バス ⑥ " " 10分
	阪急六甲→市バス ⑥ " " 5分
	(徒歩20分) ⑩ 六甲ケーブル下行神大教養部前 5分

プログラム, 講演概要の頒価, その他詳細については, 学会誌4月号に掲載(予定)いたします。講演を希望される方は, 次の要領によりお申し込みください。

学術講演申込要領

① 申込方法:

1. 申込カードの提出, 講演希望者は申込カード(4枚複写綴)を土木学会関西支部へ請求し, 必要事項を記入して当支部へ提出してください。  
(記入事項: 部門番号と区分, 題目, スライドの有無, 勤務先, 会員種別, 学位, 氏名, 卒業学校名, 年次, 連絡先等)
2. 提出期限: 1974年1月21日(月), 土木学会関西支部必着のこと。
3. その他: 申込カード・氏名欄が連名(3名以内がのぞましい)となるときは, 講演発表者に○印をつけてください。

申込カード・部門欄の記入については, ③の表を参照してください。  
(記入例: 第2部門 衛生工学)

ご記入の部門については, 講演者に変更をお願いすることがあります。

- ② 講演者の資格: 講演発表者(○印)は, 土木学会の個人会員に限ります。  
非会員の場合は, 申込カード提出期限までに入会の手続をとってください。
- ③ 講演内容: 未発表のもので1人1題に限ります。講演部門は, 内容によって次の5部門に分けます。

[講演部門]

門 部	区 分	細 分
第1部門	土木構造	応用力学・構造力学・構造工学・橋梁一般・鋼橋等
第2部門	水衛生工学	水理学・水文学・発電水力・衛生工学・河川工学・港湾工学・海岸工学等
第3部門	土質盤工力学	土質工学・基礎工学・岩盤力学等
第4部門	交通工計画 都市土木計画	道路工学・鉄道工学・交通計画・都市計画・国土計画・測量等
第5部門	土木材料工法	土木材料・土木施工法・コンクリートおよび鉄筋コンクリート工学等

- ④ 講演時間: 1題あたり10分の予定です。
- ⑤ 講演原稿提出方法: 講演申込者は, 講演概要の原稿を提出してください。
  1. 講演概要は, 講演者の原稿をそのまま縮写してオフセット印刷としますので, 必ず所定の用紙を用いてください。
  2. 用紙と執筆要領(原稿の書き方)は, 申込み受付後必ずお渡します。
  3. 原稿提出期限は, 1974年3月25日(月)とします。(期限までに土木学会関西支部必着のこと)
  4. 原稿の長さは, 1題につき2ページ(図表, 写真を含め1ページ1480字詰)を原則とします。超過限度は2ページまでとし, 1ページにつき2000円の製版料を, 原稿提出時に申し受けます。
- ⑥ 講演概要: 講演者(○印)には, 別刷30部を贈呈いたしますが, 講演概要はすべて有料です。

土木学会投稿の手引き

●土木学会投稿の手引き特別小委員会・編集●  
B5・40ページ 350円(〒70円)

1. はじめに 2. 土木学会誌・土木学会論文報告集投稿要項解説 3. 土木学会投稿原稿の書き方 4. 欧文論文のまとめ方 5. オフセット用原稿の書きかた, など。付録つき

中国四国支部行事案内 (郵便番号 730 広島市基町 10 番 3 号・自治会館内)  
電話 0822-21-2666

(1) 第 1 回工事報告会

▶ 11 月 29 日 (木) ◀

<土質工学会中国支部共催>

1. 日 時: 1973 年 11 月 29 日 (木) 9:00 より
2. 会 場: 鳥取市福祉文化会館 (鳥取市西町 2 丁目 311 番地)  
定員 120 名
3. 参 加 費: 無料
4. 問 合 先: 広島県土木建築部道路建設課 (土木学会中国四国支部)  
港 湾 課 (土質工学会中国支部)  
広島市基町 10 番 52 号 Tel. (0822) 代 (28-2111)
5. 題 目 お よ び 講 師
 

① 9:00~10:25	国鉄松江駅、鳥取駅高架工事について	国鉄大阪工事局次長 深 田 彰 一
② 10:35~12:00	広島大構架設工事について	道路公団広島県道路工事事務所技術課長 中 島 英 治
③ 13:00~14:25	中国縦貫道建設工事について—津山工事事務所管内工事報告—	道路公団津山工事事務所工務課長 浜 田 定 男
④ 14:35~16:00	山陰新幹線の経済調査について	京都大学教授 天 野 光 三

講師の都合により変更があることがあります。

(2) 特別講演会

▶ 12 月 4 日 (火) ◀

<土質工学会中国支部共催>

1. 日 時: 1973 年 12 月 4 日 (火) 13:00 より
2. 会 場: 中国新聞ビル 7 階ホール (広島市土橋町 7 番 1 号)  
定員 550 名
3. 参 加 費: 無料
4. 問 合 先: 広島県土木建築部道路建設課 (土木学会中国四国支部)  
港 湾 課 (土質工学会中国支部)  
広島市基町 10 番 52 号 Tel. (0822) 代 (28-2111)
5. 講 演 お よ び 講 師:
 

① 13:00~14:45	地域の環境汚濁について	京都大学教授 末 石 青 太 郎
② 15:00~16:30	カイコだけが絹をばく 一問題意識とは何か—	評論家 扇 谷 正 造

西部支部行事案内 (郵便番号 810 福岡市中央区薬院 2 丁目 14 番 21 号)  
電話 092-78-3716

昭和 48 年度研究発表会について

1. 開 催 月 日: 1974 年 2 月中旬 (予定)
2. 同 会 場: 熊本市 熊本大学工学部教室
3. 発 表 申 込: ① 発表者は会員であること, 1 人 1 題とする。  
② 発表題名 (部門附記), 所属, 会員種別, 氏名を 1973 年 12 月 15 日 (必着) までに申込むこと。  
③ 発表時間 15 分 (質問時間を含む), スライドは使用できません。
4. 原 稿 提 出: ① 原稿はオフセット印刷とする。原稿用紙は発表申込者に支部から発送する。タイプ原稿用紙あり。  
② 原稿用紙 1 枚 (2000 字詰), 1 題につき 2 枚とし超過は 2 枚までとし超過分 1 枚につき 1000 円同封のこと。  
③ 原稿提出は 1974 年 1 月 19 日 (土) までとする。
5. 発 表 申 込 先: 福岡市中央区薬院 2 丁目 14-21 〒 810 土木学会西部支部 092 (78) 3716

## 日本学術会議会員選挙に関する有権者名簿登録について

1974年11月に日本学術会議第10期会員選挙が行なわれますが、有権者は、日本学術会議事務局に備えた有権者名簿に登録されなければなりませんので下記によって手続をとって下さい。

### 記

#### 1. 登録カードの提出について

- (1) 前回(第9期)の選挙の有権者以外の者で有権者名簿に登録を求めようとする者は、登録用カードを提出して下さい。
- (2) 前回(第9期)の選挙の際有権者であった者については選挙管理会に保管してある登録用カードにより資格審査が行なわれました。

この審査で認定された者は、そのまま有権者名簿に登録されますから、あらためて登録用カードを提出する必要はありませんが、提出するよう通知のあった者は、あらためて登録用カードを提出して下さい。

なお、前回の登録における所属以外の部または専門で今回の登録を求めようとする方は「所属部または専門変更届(様式第2)により、登録用カードを請求して下さい。

- (3) 登録用カードは、いつでも提出することができますが、第10期選挙のための登録用カードの受付は昭和49年3月31日(必着)で締切ります。

#### 2. 登録用カード用紙の請求について

登録用カード用紙は中央選挙管理会に請求すれば無料で送付します(様式第1)。

#### 3. 有権者等の異動届について

有権者は氏名、住所(住居表示の変更を含む)、本籍、勤務機関および職名、勤務地等のいずれかに異動があったとき、または博士の学位を取得した場合には、その都度、すみやかに「有権者異動届」(様式第3)を中央選挙管理会に提出して下さい。

なお、不明の点および連絡は日本学術会議中央選挙管理会(〒106 東京都港区六本木7-22-34 電03-403-6291)へ連絡して下さい。

様式第1

登録用カード用紙請求書

(ふりがな)  
氏 名 ㊦  
住 所 (郵便番号)

様式第2

所属部または専門変更届

昭和 年 月 日

日本学術会議中央選挙管理会 御中  
(現登録の所属) 第 部 学 地方区  
(ふりがな)  
氏 名 ㊦

私は、現在の専門を変更したいので登録用カード用紙を請求いたします。

様式第3

有 権 者 異 動 届

昭和 年 月 日

日本学術会議中央選挙管理会 御中  
(ふりがな)  
氏 名 ㊦

下記のとおり異動がありましたからお届けします。

事 項	(新)	(旧)
1 氏 名		
2 住 所 (郵便番号)		
3 本 籍		
4 勤務機関および職名		
5 勤務地 (郵便番号)		
6 博 士 の 学 位	① 学位の種類 ③ 授与年 昭和 年	② 授与大学 ④ 所属学会

(注) 新たに博士の学位を取得した者は、学位の種類、授与大学、授与年とともに、必ず所属学会名を記入すること。

備考 様式第1,第2,第3は「はがき」を用いても差し支えありません。